

怪玉

本当はヤラしい都市伝説

あなたのために
断らせてください……

1

雪月佳

Presented by YUDUKI KEI



怪玉

本当はヤラしい都市伝説

あなたの毛で

逝かせてください...

1

雪月佳

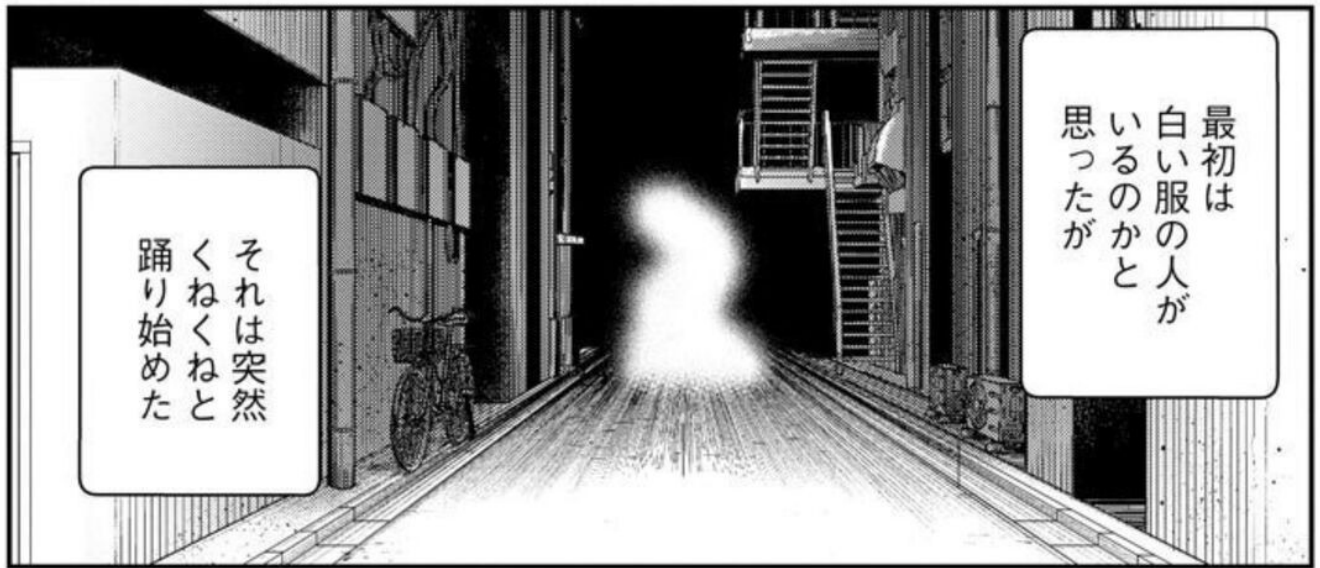
Presented by YUDUKI KEI





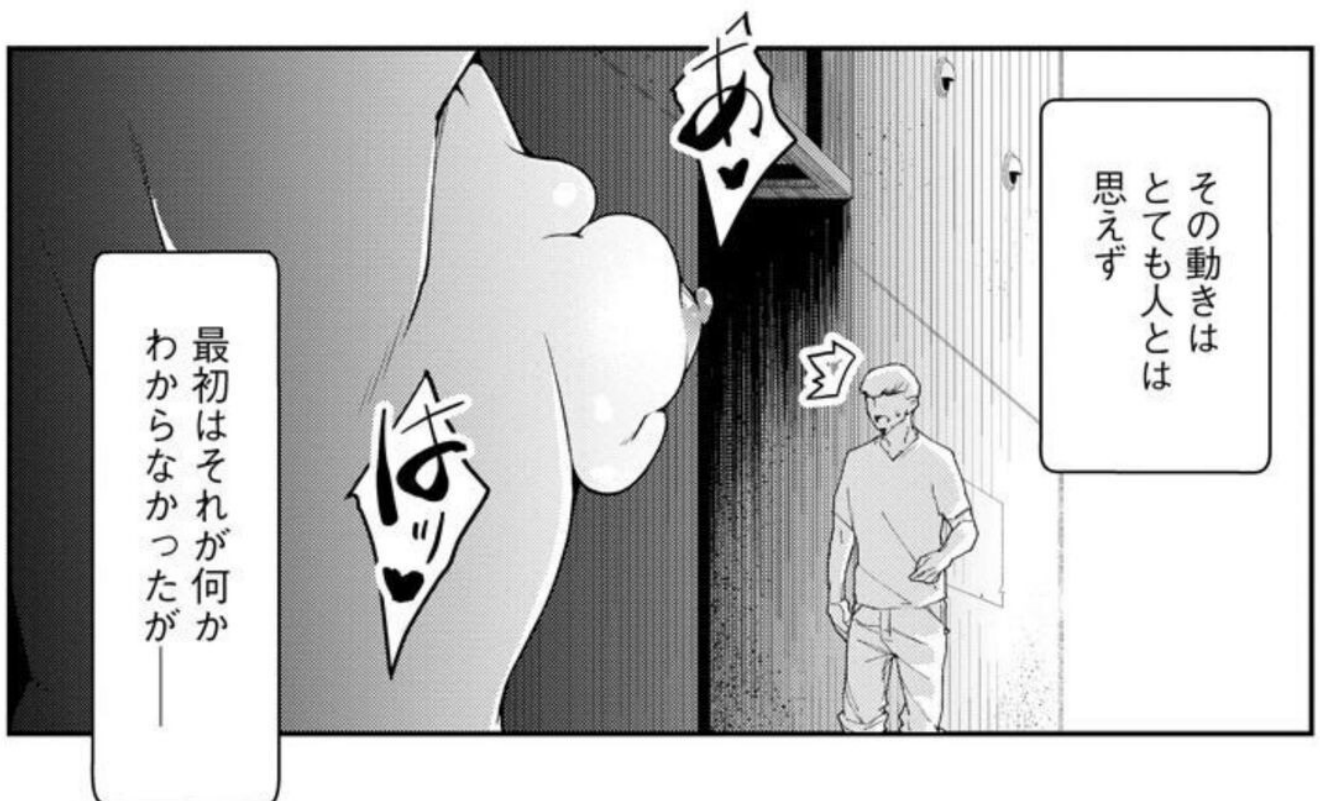


男の前に
突如として
ソレは現れた




最初は
白い服の人が
いるのかと
思ったが

それは突然
くねくねと
踊り始めた



その動きは
とても人とは
思えず

最初はそれが何か
わからなかったが――



それがナニかを
理解すると

男は青ざめ
冷や汗を流し

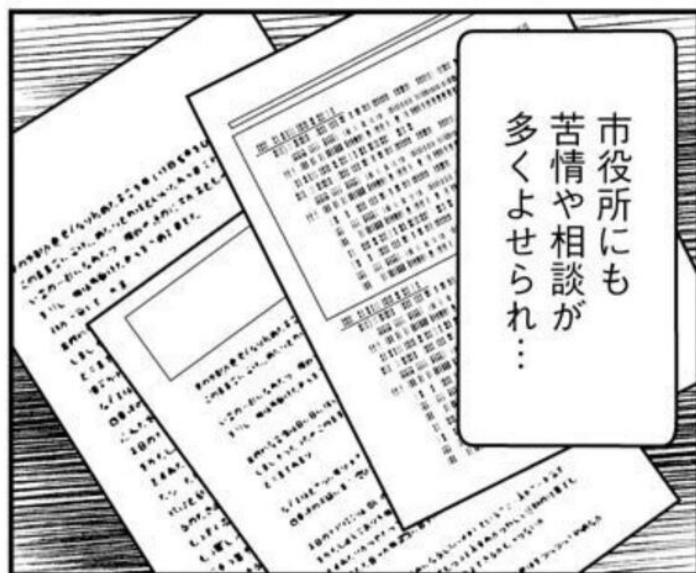
その場から
逃げるように
立ち去った



その男に
詳しい事情を
聞いても

「いっしょに
イきたイ…」と
腰を振るばかり…

精神に異常を
きたして
しまっている
ようだった



市役所にも
苦情や相談が
多く寄せられ…



おそらくこれは
「くねくね」という
都市伝説に
由来するもので



…って

香取君
聞いてる？





それなら
なんで私は
大丈夫なのよ

カシマさんは
超絶美人で
触れることも
できますし



課長からも
聞いてたんで…



環境保全課の
備品みたいなの
もんだって

今夜あいつの
枕元に立って
チ○コもいで
やるわ…

それにしても
この場所…

薄気味悪い
ところですね…

さつさと
調査して
帰りましょ

っていうか
都市伝説の
対策って

環境保全課の
仕事じゃない
ですよね…

仕方ないわよ
これも市民の
ご相談なもの

でも調査しても
どうすることも
できませんよ

ボクが何か力を
持ってるわけじゃ
ないですし…

そうかしら？

保



いつの間...



こいつが何かを
理解したら心が
壊れるわよ!

見ちゃ
ダメよ
香取君!!

カシマさん!!

それじゃボクは
どうしたら…

それなら中に
隠れてなさい！

隠れてるって…

これじゃ
カシマさんの
おま○こに…

バカッ
近寄り
すぎよ！

おま○こ

ユンッ



何人が
飲まれたのやら

いつたいこの塊に






香取君も
中であられてる...

こっやって
通りかかった人を
取り込んでるのね...

仕方ない...



取り込まれる
くらいなら

逆に取り込んで
やるわっ!!



手ハイルカ…



脚ハイルカ…

答エラレナイノ
ナラバ…



これなら
いけそうね



ちよっ…

カシマさん
何をっ…



私のモノになれ!!



アレは
欲求不満の念が
集まったモノよ

私をとおして
満足させれば
この怪異は
消え去るわ



それなら
話は簡単…



くっ…

っ
っ
っ
っ

私の膣^{なか}内で
イカ^{イカ}させてあげる

クニッ

んあ

くちゅ

香取君の
くせに
生意気ね…

膣^{なか}内が
いっぱい
なってる…











もう…
限界ですっ

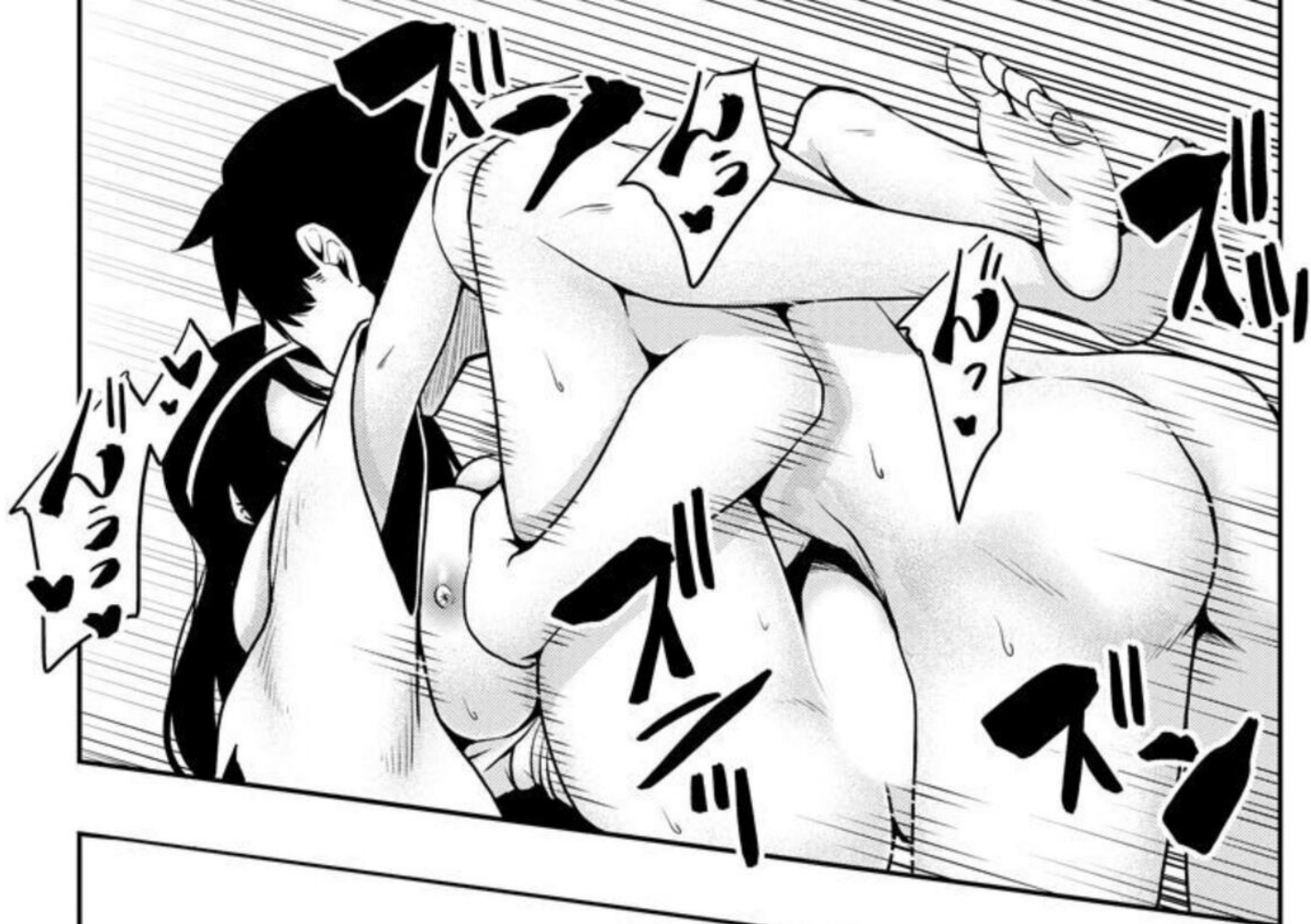
くうっ



私とっ

それなら
お願いっ
一緒に
イイの





初めてにしては
上手だったわね



なななな
なんで
バレたん
ですか!?

これで
調査完了よ

でもよかったわ

